

チャレンジ ～挑戦～



信陵中学校 学校だより

令和7年5月16日 第2号

文責：校長 青柳 茂宏

教育目標 「自律・協働・挑戦」

<修学旅行より>



令和7年度の各種活動、順調にスタート！

新年度がスタートし1ヶ月が過ぎようとしています、各種行事も順調に進んでいるところです。

4月中旬には、3年生の修学旅行（東京・千葉方面）が行われ、生徒にとっては思い出に残る貴重な体験となりました。また、同時期に1・2年生の見学学習も行われ（2年生は仙台方面、1年生は田村・三春方面）、活動を通して学級の仲間との絆を深める良い機会となりました。今回の様々な活動や体験は、学校目標である「自律・協働・挑戦」を身に付ける良い経験となりました。

今の時代、子供たち身につけてほしい力！

これからの社会は、多様化、国際化、技術革新などが急速に進み、加えて気候変動や世界情勢の変化など、子どもたちは予測困難な時代を生きていくことが予想されます。そんな時代を生きていく今の子どもたちに、どのような力を身に付けさせることが必要なのでしょうか？

私は、自分で「**気づき、考え、行動できる力**」だと考えています。



では、そのために学校として目指すべき最上位目標は「**自律のための教育（社会の中でよりよく生きていける人間を育てる教育）**」を進めることだととらえています。「自律のための基礎づくり」のためには、周囲の人と共に生きていくことの必要性を理解するとともに、周りの人々への「**感謝の心を忘れず相手を思いやる気持ち**」が大切となります。そこで、全校集会でも生徒に話をしましたが、次のことを機会に触れながら指導してまいりますので、ご家庭でもご協力のほどよろしくお願いします。

「時を守り、場を清め、礼を正す」

これは哲学者の森信三氏の言葉です。この言葉は学校現場ではもとより、企業理念や社会人教育など多方面で活用されています。

「時を守り」とは「時間を守ること」

この意味は、「時間を守ること」は**相手を大切にすること**ということ、そのことが自分に対する信頼にもつながっていくということ

「場を清め」とは「身の回りの整理整頓（掃除）をすること」

この意味は、「身の回りを整理整頓する」ことにより、**気づく人になれること**、そのことが他を大切にし、感謝や奉仕の心にもつながっていくということ

「礼を正す」とは、「あいさつ（返事）をすること」

この意味は、「元気なあいさつをする」ことにより、**心を開いて相手に接する人になれること**ということ、そのことが相手を思いやる気持ちにもつながっていくということ（返事も同じ）

この言葉に共通することは、相手を思いやる気持ちです。人は誰もが人とかかわりの中で成長していきます。感謝の気持ちを忘れず社会の中でよりよく生きていける心を育ててまいります。